

株式会社 三木製作所

2019年度環境活動レポート

(対象期間:2019年10月~2020年9月)



作成日: 2020/10/20
2021/4/9改

環境経営方針

<環境理念>

株式会社三木製作所は建材関連の金型・エンボスロール製作技術を通し、顧客である建材メーカー・素材メーカーの環境型商品の開発をサポートすることにより地球環境保全に貢献すると共に、全社員が地球環境保全の重要性を認識し、事業活動において環境保全に積極的に取り組み、循環型社会の構築に邁進します。

1. 次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力使用量の削減
- ・自動車燃料使用量の削減

②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物、産業廃棄物の削減

③排水量の削減(水資源の保全)

- ・水道水使用量の削減

④品質管理(クレーム・手戻り品の削減)

- ・材料、輸送、機械稼働に伴う電力使用等のロス削減

⑤省エネ型成型機、成形型の開発・販売促進

⑥化学物質の適正な管理

⑦事務用品のグリーン購入

⑧社会貢献

- ・工場周辺の緑化活動・清掃活動の推進

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
また環境教育を徹底することで、従業員の環境意識向上に努めます。

4. この環境経営方針および環境レポートはホームページ等を活用し、社外に公表します。

制定日：2012年6月29日

更新日：2020年10月1日

代表取締役社長 三木 繁親

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 三木製作所

代表取締役社長 三木 繁親

(2) 所在地

本 社 大阪市西淀川区大野 1-2-20

技術開発センター 大阪市西淀川区大野 1-7-28

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 三木 繁親 TEL:06-6473-3414

担当者 取締役 三木 元親 TEL:06-6473-3414

(4) 事業内容

精密金型の製造・販売

主要製品: 建材金型・エンボスロール・デザインモデル

(5) 事業の規模

製品出荷額 91.6百万円 (2019年度)

主要製品生産量 エンボスロール45本 プレス型31面

	本社	技術開発センター
従業員	5名	1名
延べ床面積	455.64㎡	386.91㎡

(6) 事業年度 10月～9月

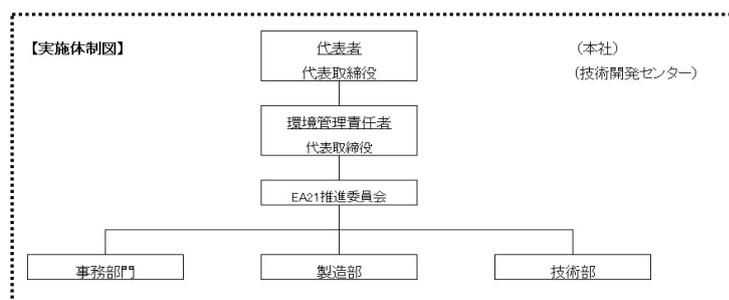
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 三木製作所

対象事業所: 本社、技術開発センター

活動: 精密金型の製造・販売

(7) 実施体制図



□環境負荷の推移

項目		2010年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	104361	84017	102541	140807	91053	98595
一般廃棄物排出量	kg	3848	2472	2019	2082	3005	2361
水使用量	m	84	83	127	112	78	72

注1: 二酸化炭素総排出量に都市ガスが含まれております。

注2: 産業廃棄物(段ボール・缶・金属くず等)は資源ごみとして再利用しております。

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準年度 (2010年度)	2019年度 上段: 通年		2020年度	2021年度	
		(基準)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
電力使用量の二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	96,232	89,496	93,690	88,533	87,571	
	出荷高(万円)	9,501		9,167			
	基準年度比		93%	97%	92%	91%	
	原単位(kg/万円)	10.1	9.5	10.2	9.3	9.2	
	原単位基準年比		93%	101%	92%	91%	
ガソリンの二酸化炭素排出量削減 (※都市ガスを含む)	kg-CO2	8,096	7,529	4,904	7,448	7,367	
	基準年比		93%	61%	92%	91%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	104,328	97,025	98,594	95,982	94,938
基準年度比			100%	93%	95%	92%	91%
一般廃棄物の削減	kg	3,848	3,579	2,361	3,540	3,502	
	基準年比		93%	61%	92%	91%	
水使用量の削減	m	84	78	72	77	76	
	基準年比		93%	86%	92%	91%	
品質管理 (クレーム・手戻り品削減)	件	0	0	2	1	0	
	基準年比						
製品への環境配慮	型数	70	77	36	78	79	
	基準年比		110%	51%	111%	113%	
溶剤の適正管理 (チェックリスト法)	回	12	12	12	12	12	
	基準年比		100%	100%	100%	100%	
グリーン購入	品目数	6	13	12	14	15	
	基準年比		217%	200%	233%	250%	

※平成25年度電気事業者別二酸化炭素排出係数: 関西電力株式会社 0.522kg-CO2/kWh

□環境経営活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

○達成できた △一部未達成 ×未達成

取り組み計画	目標達成率	次年度 目標値 (基準年度 比)	評価(結果と次年度の取組内容)
電力使用量による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×	92%	基準年度比、売上は96%、原単位換算で1%増
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	継続	今期は売り上げが減少したが、受注構成と電力使用の負荷が高い季節での受注が重なり電力消費量が増加した。エアコンに加えてスポットで扇風機を追加し、空調管理の負荷低減に取り組む。
・空気圧縮機のエア圧力設定変更	○	継続	
・水銀灯蛍光灯をLEDに切り替え	○	継続	
・クールビズ・ウオームビズの推進	○	継続	
・窓・FRP壁面の断熱工事を継続	○	継続	
ガソリンによる二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	92%	基準年度比原単位換算で39%減
・自社便での配達から混載便での出荷へ変更	○	継続	今期も継続して混載便での出荷に取り組んだため、自社便の稼働が減少した。来期に向けて更なる納期管理の徹底で自社便使用頻度の減少を目指す。
・公共交通機関により社用車の使用削減	○	継続	
・アイドリングストップ車導入	○	継続	
・省エネ車の導入 2台目	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	92%	基準年度比39%の削減
・材料取りの工夫で廃棄物を削減	○	継続	作業標準で基準年度の39%の削減成果。引き続き無駄な廃棄物を減らす努力を継続して行なう。
・資源ごみのリサイクル化	○	継続	
・注型レベル精度UPによる廃棄物の削減	○	継続	
水使用量の削減			
数値目標	○	92%	基準年度比14%の削減
・ホースに手元バルブをつけて流し放ち防止	○	継続	雨水の利用、現場での節水の徹底に取り組む。
・節水タイプのトイレに更新 本社1、2F	○	継続	
・水漏れ確認	○	継続	
品質管理			
数値目標	×	1件	2件発生
・クレーム・手戻り品の削減	×	継続	今年度より項目を追加。次年度は0件を達成すべく、工程管理・品質管理に努める。
製品への環境配慮			
数値目標	×	78型	
・独自の樹脂製金型技術で型のリサイクル	○	継続	樹脂プレス型の発注が減少し未達となりました。引き続きリサイクル製品のPRと樹脂型使用製品の開発フォローを行う。
・省エネ型の新工法成型機・成型型の拡販	×	継続	
・省エネ設計・省エネ機器の採用	×	継続	
溶剤の適正管理			
数値目標	○	12回	
・溶剤の適正管理の徹底	○	継続	
グリーン購入			
数値目標	×	14品目	
・品目数の向上	×	継続	12品目を購入。目標到達に向けてさらにエコ商品の導入を進めます。
社会貢献			
・会社周辺の清掃活動	○	継続	毎朝工場周辺の清掃・緑化エリアへの散水を継続実施する。
・工場の緑化推進	○	継続	

□法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理委託 (産廃はすべて有価物)
騒音・振動規制法	空圧機、(7.5KW空気圧縮機3基 設置届け申請受理済 2012/8/23)
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤの廃棄時適正処理、簡易点検
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラックの廃棄時リサイクル
Nox・PM法	トラック、バンの排気ガス規制
大阪府条例	トラック、バンの流入車規制
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫等のリサイクル
消防法	少量危険物貯蔵の届け出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

今期通年度8期目の活動を実施し、結果を確認しました。今期の売り上げは前年度比0.98倍と微減ではありませんでしたが、受注品目の兼ね合いで機械稼働率は1.4倍となりました。温度管理が必要となる大型の金属ロールやプレス型の割合が前年度に比べ増加した影響もあり、エアコンの稼働率も高い状況が続く、電力使用量についても目標に対して達成率96%、原単位基準年度比でも1%増加のと結果となりました。その他の項目については一部を除いて目標を達成しており、継続した取り組みの効果が出ていると感じました。今期より新たに品質管理の項目を追加しましたが、手戻り・クレームが2件発生しております。手戻りの対応で発生する電力や燃料使用による二酸化炭素の排出や廃棄物などのロスを削減していけるよう発生0件を目標に来期以降も取り組んでまいります。昨年度竣工の新工場においても省エネエアコンに加えて、工場の天井や機械前に扇風機を設置し、効率的な温調管理ができる環境整備に取り組んでまいりました。今後も受注傾向は変わらず温度管理を必要とする大型金属ロールやプレス型が継続的に続く予定ですが、設定した目標を達成できるよう新たな対策を講じて取り組んでまいります。環境マネジメントシステムは、目標の見直しを行い変更なく引き続き運用する。

工場の天井と機械前に扇風機を設置し、省エネエアコンとの併用による電力使用抑制を実施



周辺環境に対する騒音対策として機械に防音シートを設置



代表取締役社長 三木 繁親